



ぐんぐん

立山北部小学校
1年 学年だより
令和5年度 No.3

1年生、勉強がんばっています！



タブレットを使って、アサガオの写真を撮りました。

梅雨入りが近付き、1学期も折り返し地点を迎えました。生活科で種をまいたアサガオに、子供たちは「早く大きくなってね」と願いを込めながら、毎日水やりをしています。そして、最近は、自分のアサガオの様子をタブレットで写真に撮り、保存したり、データを送って、みんなで共有したりすることにも挑戦しています。また、アサガオの観察や道徳科での話し合い等、心に留まる体験をした機会を捉えて、文を書く学習にも取り組んでいます。まだ全てのひらがなの指導はしていませんが、「書く」ということを難しく考えず、心に浮かんだ気持ちをそのまま素直に表すように声をかけています。

夏休みまでの2か月間、文の読み書きやたし算、ひき算等、次第に学習内容も複雑になってきますが、子供たちが興味をもって取り組めるように工夫していきたいと思います。ご家庭でも、持ち帰ったプリント等に目を通し、よいところを見つけて励ましていただけると、子供たちもやる気をもって取り組むことができると思います。ご協力をお願いします。

お知らせ



- 低学年のうちに、人前で話すときには「聞き取りやすい声の大きさではっきりと話す」ということを身に付けることがとても大切です。音読の練習は「文字の読み方に慣れる」「言葉の響きを味わう」というだけでなく、「声を出す」という点でも大事にしたい学習です。音読の宿題を度々出していますが、お子さんの音読を聞いてくださることが子供たちの意欲につながり、ご家庭での練習がみんなの前で音読する自信になります。お忙しいとは思いますが、静かに音読に耳を傾ける時間をつくってくださいよう、お願いします。
- 学校生活にも慣れてきたこの時期、子供たちの忘れ物が多くなります。特に毎日身に付けてほしい「はんかち・ティッシュ・名札・マスク」を忘れる人が目立つようになりました。自分自身ができることを増やしていくためにも、学校の用意を自分ですることは大切です。子供たちが準備をするのを見守っていただき、最後のチェックを保護者の方にしていただくことによって、自分で準備をしっかり行おうとする態度が身に付き、忘れ物に気を付けるようになっていきます。ご協力をお願いします。

おすすめの家庭学習

国語	しりとりあそび	しりとりで言葉をどんどんつなげて書きます。小さい「っ」や「ばぴゅぺぽ」の文字も使うことによって覚えることができます。 例 あいす→すいか→かめら→らっぱ→ぱい→なっふる…
	ひらがなの練習 あいう	ノートに五十音の表を見て書きます。(教科書 P129) 音と文字(形)が一致するまで、繰り返し練習しましょう。また、日常的に書く時に「とめ・はね・はらい」を忘れるお子さんが多くいます。特に「な」「は」「ほ」「け」等の「はね」の部分をしっかりせずに書いてしまう場合が多いので、丁寧に練習するとよいです。
算数	たしざん、ひきざんの練習	たしざんカード(青) ひきざんカード(赤)を使って、練習しましょう。初めは、指を使ってもいいですが、すらすらに言えるようになるまで、どんどん練習しましょう。
体育	上体起こしの練習	運動能力テストの種目です。腹筋の要領で30秒間に何回できるか練習しましょう。

アサガオを通して命を考える

朝のしたくを終えると、中庭のアサガオの水やりに行きます。「前は、芽が3個だったのに5個になった」「昨日より、大きくなっている」「葉っぱと葉っぱの間から新しい葉っぱが出てきた」などと、少しずつ生長するアサガオをうれしそうに観察しています。

生活科の学習の時間に、アサガオの様子や世話について話し合っていたときのことです。まいた種（5つ）全てが発芽した子が、「アサガオさんが、狭そうだ」と言いました。そこで、子供たちに、「間引き」という工程があることを紹介しました。すると、「えっ！」と驚く声や、「かわいそう」とつぶやく声が、あちらこちらから聞こえてきました。“ここまで育ったアサガオを取り除く”ということに、子供たちは困惑した様子でした。アサガオがきれいな花を咲かせるためには必要な工程ですが、立派なアサガオに成長させるために間引くという選択も、間引きをせずにすべての芽を残して育てていくという選択も尊重することとしました。それぞれの選択のメリットとデメリットを子供たちに説明して、子供自身が判断することとしました。



【そのまま育てる】

- ◎ どのアサガオも生かすことができる。
- ▲ 栄養が足りない。病気になるやすい。

【2本残して間引きする（抜く）】

- ◎ 抜いたアサガオも育つかもしれない。
- ▲ 鉢のアサガオの根に傷をつけるかもしれない。

【2本残して間引きする（切る）】

- ◎ 鉢に残すアサガオは元気に育つ。
- ▲ 間引いたアサガオは枯れてしまう。



どうしよう
かなあ…



決めかねている子供もいたので、お家の人と相談してもよいことにしました。どの子供も、自分のアサガオのことを大切に思い、これからアサガオがどのような成長を見せてくれるか楽しみにしているようで

自分たちでくらしをつくる

5月の連休明けから、教室での仕事を一人一役として取り組んでいます。「黒板」担当は、黒板の文字を消す人と溝を掃く人が声をかけ合い仕事をしています。「配り物」担当は、配るノートの冊数を分担しながら仕事をしています。ノートを机に置くときは、友達が使いやすいように向きを考えています。「お知らせプリント」担当は、昼休みに取ってくると決め、忘れず職員室前まで見に行きます。「体育」担当は、「準備運動をします。広がりましょう」と声をかけ、準備運動をリードしたり、使った用具の後片付けをしたりします。また、給食時には、給食当番も始まりました。素早くエプロンに着替え、配膳をしています。台拭きでは、友達が休むと、「代わりにします」と進んで仕事をしてくれる子もいます。

どの子も、「自分から進んで働いていること」に感心します。当初は、言われてから仕事をする場面もありましたが、今では子供たちの働きで教室での生活が流れるようになってきました。自分たちで声をかけ合い、くらしをつくろうとする子供たちの姿にまた一つ成長を感じます。

